



「三方原用水篠原地区」が農業農村整備優良地区 コンクールで水土里ネット会長賞を受賞



表彰式の様子

本コンクール（主催：全国土地改良事業団体連合会）は、「農業農村整備事業を契機として、豊かで競争力のある農業や美しく活力のある農村の実現に取り組んでいる地区」を対象として表彰するものです。




令和5年11月に開催の選定審査会で、農業振興部門においては農林水産大臣賞2地区、農村振興局長賞4地区、全国水土里ネット会長賞6地区が選ばれ、うち浜松市の「三方原用水篠原地区」（篠原舞阪南部土地改良区・浜松土地改良区）が水土里ネット会長賞を受賞しました。



はるたま ホームページ

受賞を契機に、今後も荒廃農地の解消や担い手への農地集積・集約を推進し、新玉ねぎの一大産地として更なる発展が期待されます。

↓日本一早い静岡県産新玉ねぎ：はるたま ホームページ
<https://harutama-ja.com/>

団 体	篠原舞阪南部土地改良区・浜松土地改良区
取 組	定期的な水利施設の更新で玉ねぎ生産が拡大、生産者とのマッチングで荒廃農地解消を図る
活動・評価	<ul style="list-style-type: none"> ・浜松市の南西に位置する三方原用水篠原地区は、遠州灘沿いの砂地地帯であり、大正時代から玉ねぎの作付が始まり、現在では日本一出荷時期が早い「新玉ねぎ」の産地として知られている。 ・昭和35年度に着手した国営かんがい排水事業を皮切りに、定期的に整備事業や水利施設の補修・更新が行われ、農業用水が安定供給されている。 ・土地改良区や営農者、地権者、行政、JA等で構成する「浜松市南部地区農地利用調整協議会」の調整に基づき、生産者と農地のマッチングを行うとともに、JA子会社「㈱とびあふあー夢」が荒廃農地を再生し、規模拡大を目指す生産者や新規就農者に貸し出している。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">    </div>

東部

浮島北部地区で茶改植が始まりました（沼津市）



令和4年度に事業採択された、畑地帯総合整備事業浮島北部地区（沼津市）では、本地区として初めて、造成後の茶園に苗を定植しました。

区画形状が悪く、急勾配の荒廃茶園が、区画整理され、緩傾斜な茶園となったため、苗の定植は機械で行いました。

今後は、定植後の苗及びほ場の様子を観察するとともに、今回の工事における課題点を他工区的设计や工事に生かし、事業を推進してまいります。



東部農林事務所農地整備課 055-920-2166

富士

安居山用水の監視及び診断を実施

県監視・診断調査は、対策工事を災害・事故リスクの高い箇所から適時実施することにより、必要最小限の範囲で施設の機能維持を図るため、施設管理者（富士宮市）から申請を受けた県（富士農林事務所）が施設機能の監視及び診断を行うものです。

3月13日（水）、安居山用水の監視及び診断調査を実施し、当面、経過を観察しても性能に支障がなく早急な対応は必要ないと判断されました。

今後も、継続的な施設の監視及び診断調査を行い、施設管理者（富士宮市）と連携し、安居山用水の長寿命化とライフサイクルコストの低減を図ります。



富士農林事務所農村整備課 0545-65-2201

志榛

茶園区画整理を行ったほ場で茶のセル苗を定植



牧之原市の朝生原地区では、2期目の茶園区画整理工事として11haの整備が完了し、現在、茶の定植作業を行っています

広大な面積であるため、ほとんどのほ場でセル苗の機械植えを行っていますが、それでも多くの労力を要します。

3月6日（水）～8日（金）にかけて、営農者による定植が行われ、志太榛原農林事務所職員も研修の一環として定植の支援をしました。

今後も地域の担い手による大規模で効率的な営農を可能とする優良な茶畑の整備を推進してまいります。



志太榛原農林事務所農地整備課 054-644-9234

西部

農道拡幅工事の説明会を開催（三ヶ日みかんの里地区）

令和6年2月22日（木）、畑地帯総合整備(担い手支援)三ヶ日みかんの里地区において、農道拡幅工事に先立ち、工事説明会を行いました。

工事の概要を説明し、施工時の留意点や地権者の要望、畑への乗り入れ箇所等の確認を行いました。

工事説明会終了後から現場着手し、みかんの収穫時期までに完成できるように、工事受注者及び地権者とコミュニケーションをとりながら工事を進めてまいります。



西部農林事務所湖北事業課 0538-458-7231